



# 月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)  
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番  
(公) 043 (222) 7207 番

94.10.7 No.4075

# 目標600万円

## 九四年冬季物販促進会議を開催

一〇月二日、第二一回定期大会終了後、九四年冬季物販担当者会議が開催された。今回も昨年に続き、動労千葉の担当者として全国で物販運動を担ってくださる仲間が大会傍聴に続き参加し、総勢六〇名余りとなった。

冒頭、中野委員長があいさつに立ち、「動労千葉の物販運動は、社会党の転向のなかで注目を集めている。九・一八集会所も物販運動が基礎となつてかちとられた。全国の仲間は、地域の運動と結びつける観点で物販運動を展開して欲しい。」と訴えた。

続いて、白井協販部長が担当者会議の基調を述べた。

白井部長は、九四年夏季物販闘争の総括として、

①物販オルグの拡大方針によりオルグ日数、オルグ箇所、注文数、新規注文の数とも過去最高の実績をかちとった。②昨年夏より実績が伸びている箇所が多くあり、物販闘争を取り組む意気込みいかにで実績がのびる。

③動労千葉OBの注文が増えたこと。④物販運動のオルグ対象者は、労働組合であり、労働者は、労働者の悩みや考えていることと噛み合ったオルグが必要。労働者の立場に立った働き掛けよう。

⑤動労千葉の「全国にはばたこう」方針により、解雇者も組合員も物販、集会オルグと各

地域の職場に入り、大きな成果をあげてきた。全国の職場に入り、労働者に合い、オルグすることが、全国の労働者に勇気を与え、また、動労千葉の組合員にも希望与えること。

と総括し、

さらに物販の重要性について、①動労千葉に対する支持・共感が非常に強まっている。村山政権の成立で労働者は支持政党を失い、闘う労働運動の新しい潮流、新しい党を求めている。②大失業時代のなかで清算事業団闘争が闘う労働者の結集軸となつている。労働者の首切り・権利剥脱・賃下げの攻撃に抗し闘う軸として、国鉄闘争勝利の闘いが決定的である。

③この間の全国・県内の地域集會、労働者集會の成功によって物販運動の重要性がますます明らかになった。九四年冬季物販運動の飛躍・拡大をかちとるべく闘っていきこう。

と訴え、

さらに、冬季物販の目標と方針についてのべ、

・九四年冬季物販の目標は、

●全体目標六〇〇万円

●オルグ開始は

●一〇月一七日と提起した。

続いて、岩井協販部員から、冬季物販で扱う商品について提起があった。

今回は、新商品として、  
■干しいも、■ヨーグルトきのこの素、■ソーリンゲン包丁セット、■プランデークーヘン、■乾舞茸・椎茸、■はがきの整理帳、■スリムベルト(腰を固定するウエストベルト)があり、また、ピーフカレーなど安く提供できるようにしたなどの説明を行った。

協販部からの提起を受け、担当者会議の参加者から質問、意見を受けた。

全国から集まった担当者からは、◆物販運動を地域の運動の拡大に結び付けたい。◆物販に入つた職場にオルグに行き、組合役員と話せる関係が拡大している。◆オルグ日数を増やし、奮闘する。◆前回並みのオルグを行ったが不況のため、売り上げが伸び悩んでいる。オルグ日数を増やし、奮闘したい。

などの意見が続々と出され、また、動労千葉からは、「全国のみなさんの奮闘に励み、オルグに絶対行かせてもらおう」などの意見が出、最後に司会の後藤特別執行委員の閉会のことばで会議を閉めていった。

今回の組合員

の目標は、

ひとりで二万円

オルグに出る組合員は、次の資料を熟読して読んで下さい。

●大会運動方針  
●物販のお  
●願いの動労千葉の現状報告  
●動労千葉機関誌一七号  
●岩井章・中野対談集「大失業時代の労働運動」  
●九・一八労働者集會報告集 など



今回の組合員  
の目標は、  
ひとりで二万円  
オルグに出る組合員は、次の資料を熟読して読んで下さい。  
●大会運動方針  
●物販のお  
●願いの動労千葉の現状報告  
●動労千葉機関誌一七号  
●岩井章・中野対談集「大失業時代の労働運動」  
●九・一八労働者集會報告集 など

目標貫徹にむけ  
ガンバロー

